

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 伊藤 耕	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	公害健康被害対策推進事業		
目的	(1) 対象	公害健康被害認定患者	
	(2) 意図	健康被害にかかる損害を補填するための補償ならびに被害者の福祉に必要な事業を行う	
事業概要	笹ヶ谷の公害健康被害者（ヒ素中毒患者）に対する健康管理、維持を図るため、公害認定患者に対し、健康被害に対する補償及び健康診断を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	管理検診受診率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値			3.00	3.00	3.00	
式・定義	検診受診者数／検診対象者×100		実績値	3.00	3.00	3.00	3.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						
式・定義			実績値	3.00	3.00	3.00	3.00		人
			達成率						%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,866	4,520
うち一般財源 (千円)	1,682	802

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

公害認定者3人に対して、法に基づき、健康被害に対する補償及び健康診断を行った。対象が高齢であることから、利便性を考慮し、地元で検診することにより、受診率100%となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

受診案内の際や検診当日には地元自治体等の協力により、受診対象者全員の検診を行うことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
現在、地元自治体等の協力により、対象患者全員が健康診断を受診できているが、患者の高齢化により、今後も、地元との協力体制が不可欠である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
公害認定患者の高齢化
- ③原因を解消するための「課題」
引き続き、地元自治体等との連携・協力体制を維持していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、地元自治体等との連携・協力を維持し、公害健康被害補償法に基づき、適正な健康診断を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）